

学校だより1月号

令和4年1月11日



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

共に育てる

校長 大谷 珠美

天候に恵まれ、穏やかな年のスタートになりました。皆様年の初めをどのようにお過ごしになられたでしょうか。

昨年はコロナの影響を受けて教育活動も思うように進まないときがありましたが、どうやら今年も年明けから、オミクロン株の影響を受けそうな気配です。でも、手洗いや消毒、マスクの着用など予防に心がけ、健康な一年を過ごせるようにしたいものですね。

さて、今年の4月1日から、成人になる年齢が20歳から18歳へと引き下げられ、2年早く「大人の仲間入り」になります。小学生には影響はないのではないかとされているかもしれませんが、成人として自立した大人になるためには、小学生のうちから、自分で考え自分で行動する力を身に付けるようにすることが大切になってくるのではないのでしょうか。

子どもたちの遊びの中で、やってはいけない事をした時に注意すると、「誰かが言ったから自分もやった。」「みんなやっていた。」ということをよく聞きます。しかし、よくよく話を聞いてみると、誰かが言ったことは、定かではなく、自分がそう思い込んでしまったり、一人や二人がやったことを「みんなが・・・」と言ってしまったりすることが多くあります。そして、「だから自分は悪くない。」と、自分がやったことを正当化する傾向にあることが多いです。友達同士の噂話も、真実かどうかわからないのに「みんながそう言っているよ。」とあたかも本当のことのように次の人に伝えてしまい、大ごとになるケースもあります。私たち大人もインターネットの世界で発信されたことを、それが真実であると認識してしまふことがあります。もちろん、事実のみを伝えているものもありますが、発信されたものはその出来事のある一部分であって、切り取られて伝えられることも多くあります。だからこそ、受け取る側の私たちは、本当にそれが事実かどうかを見極める目と力を身に付けておかないと、誤った情報を受け入れてしまい、そのまま、間違っただけを真実として思い込んだまま過ごしていくことになってしまいます。

未来を担う子どもたちが、正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると堂々と相手に伝えたり、誤ったことをしてしまったときには素直に謝ったりと、具体的な行動に移すことができるよう、18歳成人に向け、私たち大人はこれからもしっかりと子どもと向き合い、一緒に子どもを育てていきましょう。

子どもですから、出来ないことがあっても当たり前。人のせいにならず、苦手なことがあってもそこから逃げない心の強さ。失敗してもくじけずチャレンジする力。相手と比べず、自分のいいところをたくさん見つけて誇れる自分（子ども）でいることができるように、私たちは、おおらかにゆったりとあたたかく子どもを見守り続けていきましょう。